

2020（令和2）年度 曾田豊二 SPIO 奨学金受領者 各100万円

氏名	所属	留学先	留学期間	留学目的
原淵 翔平	旭川医科大学	米国 University of Pennsylvania	2020年4月1日～2023年3月31日	特殊な遺伝子改変マウスモデルおよび実験機器等を用いた高度な基礎研究活動を行うため。
竹田 貴策	東京医科歯科大学	米国 The Ohio State University	2021年1月21日～2023年3月31日	眼球運動を用いた平衡覚認知能の定量解析の研究において直線や回転加速度を負荷する大型装置などを用いて更なる解析をするため
浦口 健介	岡山大学	米国 University of Iowa Health Care	2022年3月～2024年2月予定	蝸牛内の単一細胞の遺伝子発現の研究を行い、単一細胞の遺伝子を解析し蝸牛全体ではなく単一細胞での遺伝子発現・変異の影響について解明するため
鈴木 法臣	慶應義塾大学	米国 Massachusetts Eye and Ear Infirmary	2020年9月8日～2022年8月31日	内耳基礎研究



2021（令和3）年度 曾田 SPIO 研究助成金・奨学金の募集について
 曾田豊二 SPIO 研究助成金（外国人） 1件当たり 月額25万円
 曾田豊二 SPIO 奨学金（日本人） 1件当たり 100万円
 今年度の募集は、6月以降のホームページをご覧ください。 <http://www.spio.or.jp>

2020年度 SPIO Award

韓国 Geonho Lee, M.D.

SPIO Award は、毎年 Auris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金（50万円）を贈呈しています（ただし、筆頭著者は45歳以下）。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり令和1年までに20名の受賞者を選出しました。

2020年度は、掲載された原著論文107編の中から候補対象となる72編を英文誌委員会のメンバーで審査し、最終的に SPIO Award 候補論文として3編が推薦されました。その後 SPIO 選考委員会および理事会で選考した結果、韓国 Dr. Geonho Lee が選ばれました。



Geonho Lee : Neuropilin-2 promotes growth and progression of papillary thyroid cancer cells, ANL Vol.47, No.5, 870-880, 2020

平成27年度杉田SPIO研究助成金受領者の近況

順天堂大学 留学者 Nuermaimaiti Maola, M.D

私は、2013年12月に順天堂大学に入学してから甲状腺未分化癌の研究を行って、2020年に大学院を卒業しました。来日した留学の目的は、日本の先進的な医療技術を学んで、故郷のウイグルに戻って役に立ちたかったのですが、社会情勢が不安定になり戻る事が難しくなりました。

現在は、コロナの影響で医療関係の仕事は続けることができず、友達の会社で働いています。チャンスがあれば、日本の医師免許を取得して、日本で耳鼻科の専門医として働き、自分の知識を深めながら、日本で生活し続けていきたいです。

今、妻と娘と3人で暮らしています。娘は小学生ですが、将来に医者になりたいと言う夢を持っています。将来、娘が日本で医師になれるように一生懸命育て、娘の夢を叶えるように頑張ります。

